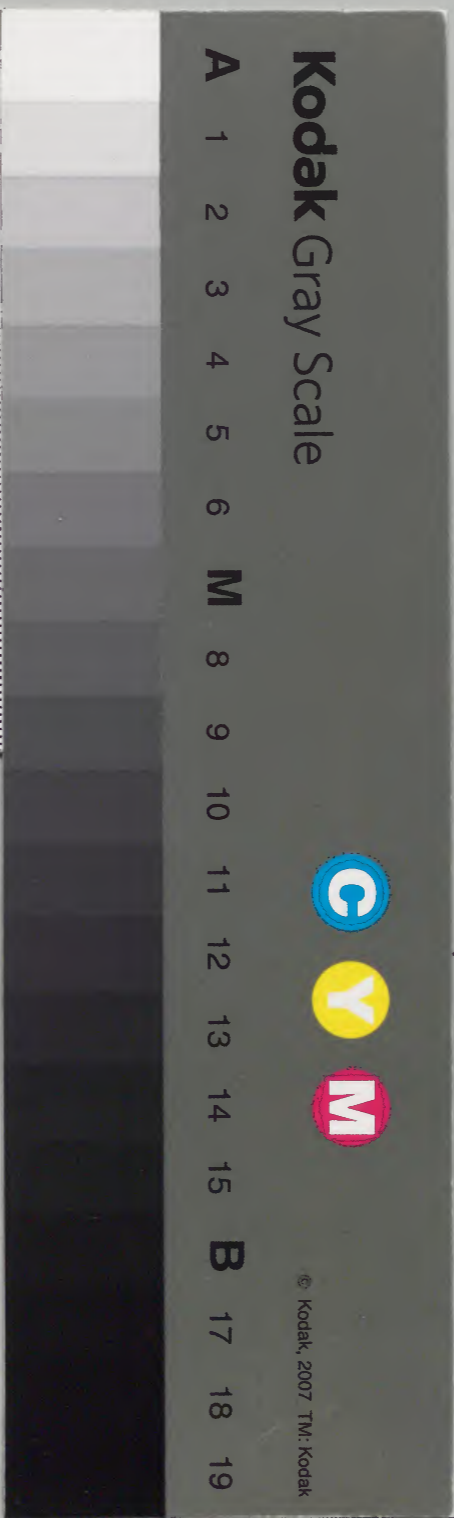


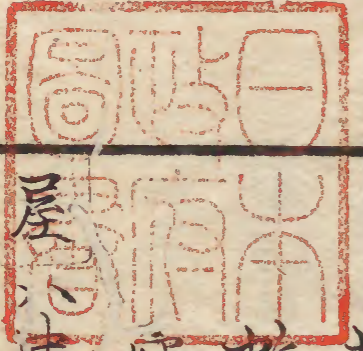
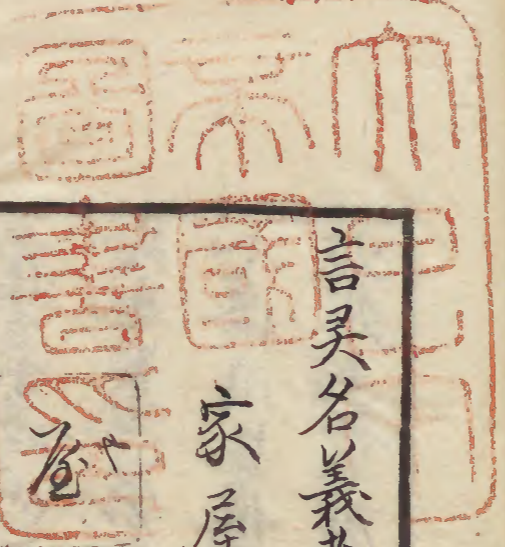
三才名義考 十三

和書門		
二八四八一	九三函	二〇冊
類		

內閣文庫		
二八四八一	二〇冊	一六架
和書類		

內閣文庫		
番號	和	28481
冊數	20 (14)	
函號	207	325





言灵名義考卷之十三

家屋之類 并具

- | | | | | |
|----|----|----|----|----|
| 官 | 大官 | 伏屋 | 丸屋 | 納屋 |
| 草屋 | 草屋 | 草屋 | 草屋 | 蔭屋 |
| 萱屋 | 尾屋 | 火屋 | 四阿 | 二屋 |
| 塙屋 | 厩 | 厩 | 土蔵 | 塙屋 |
| 窟 | 管屋 | | | |

けしは、何々の之、刺之詞より、名義也。人必、中より、必、
 申より、右、加、そのを、動、する、や、と、利、た、也。今、の、世、は、屋、屋、と、
 唱、へ、て、何、屋、と、い、ふ、皆、は、美、なり。

官、（い）、敬、詞、也。神、の、所、在、す。

との也。
[二] 廳 政教也。

臺榭

榭

臺榭 うちてはうつえと云ふ也。つえをてと移めてうと云ふ。うは
[一] 也。おは推留る也。えをほく推留ると云ふ也。移て言櫓よ
して元中よ傳ら所始をうてれと長きなり。

玉階

玉階 内裏宮中よ移せる階にて大宮人の往来路也。[一] 敬詞
也。[二] 移る内裏也。おはと云ふ也。階 ぎざの刺也。玉階刺

名十三 五

あり友佐よ従ひて座するなり刺階と云。

櫓子

櫓子 一階の外よ登り外を結ぶ也。まは階也。まは階也。玉階の
外よ登り外を結ひて一層とあるなり。まは階と云ふは山也。

大櫓 言櫓 しろ

櫓

櫓 一階の外よ登り外を結ぶと云ふなり。一層の要害は文もいん
國の往来法玉の使道よき限りを極めて築物なり。よきと
号く築の[一] 櫓 移て櫓なり。大櫓 言櫓 一階の櫓と云也。今俗よ

城（しろ）といふ志ろいしり木と云ふ也。り木を（ろ）と納めてしりと
いふ。必の守領登る城也。

礎（いし）

礎（いし）石居也。

在（あ）在（あ）

在（あ）在（あ）人の上りの上今在（あ）と云ふ也。

恒（とこ）恒（とこ）

恒（とこ）あつてゐる恒（とこ）。

垣（かき）

垣（かき）の名義所のふといふ。

危（あや）危（あや）

危（あや）危（あや）のつま

危（あや）ハ除也家の外ハ除と云ふ也。のむきと云ふ義も。延て家
の外ハ除と云ふ也。危（あや）ともいふ。ハ大ハ延てゐる端と云ふ
なり。危（あや）のつまといふ。

ともあれ透る草き垣也。外垣 茨垣 築垣 土築垣 笠垣 松垣 萩垣

栲垣 木ハ。きねを冠をもていり。萩垣 竹木生着好萩を圍ひしる

垣也。外垣 外を柱並へて垣となす也。活垣 何の木をも柱並へ

垣とせし也。築垣 つまらざるもて。木をいとしけり也。土を築する

なり。猪垣 猪麻通いさして下より垣也。い垣 瑞垣 玉垣 け

二種の子上神具のふよこいり。活垣の外垣字なり。活り
て活なり。

隣家

隣 ハ戸並ひと云ふなりをいひたりと約めてとるなり。

對家

對家 むらむの向合也。きあをり と約めてむらむといふ。榎家よ向ひ
合ふ家なり。

柱

天の依柱 湯柱

柱 ハ端領あつ云ふ也。りあをり と約めてとるなりと号く。

上下の端を領て取らんと云ふ也。家を保つ栂の萩第一なり。

い美をもとらうて。國家をよく保つ活柱を。玉の柱家の

柱と号しなり。天の依柱 ともいり。天神七代地神五代。凡

水柱也。よてい三柱の神七柱の神といふ也。

棟玉ね

棟むハ壓字也。量る也。ねハ收り詰り也。工者の壓字量るに
建る不。字は收り詰ると云ふ也。

まろ

梁

梁ハ内破りと云ふなるを。あくをつと納めしうつらとい
ふなり。うつと耐えしむるに流りて云。まろ
とのもいなり。まろを
まめと云ふ也。あハ木の款もなり。もハ罪定る也。おんを

名十一 十一

廣くも高くも并延るもの。只はものよめと云ふ也。

桁

桁けハまきと云ふと云ふなるを。まきをけと納めてけと号
く。まハ限りを極むる也。元ハゆるて内子集り也。たハゆるま
治り留る也。家の限りハ棟也。ま棟より屋よの限りを以て。内
子集り。あらうま治り留むるお桁也。けと納めしうおがられ
消るるの義を念めしなり。

鴨柄かしえ

鴨柄 ハカ 柄 おえ と云義有り。 ミ 柄 を シ と約束するも云と
号く よ 登る柄と云義也。往來の人の上よ登る柄と云也。

しき
國

國 しき 敷也。 ハ 納り し 有り。座 よ 登る る 有り。納り
 し と云義也。 しき し 有り。

ぬき

柱 を 徹 し 有り。 し と云義有り。

たな
棚

戸棚

棚 た の あ と云義也。 あ し 伸 び 有り。 し と云義有り。 あ
 を あ し を 納めて。 し を 推 し 留 め 推 し 有り。 た な は 棚也。

しき
拵子

拵子 しき は 端 を お と云義有り。 し を シ と約束す
 し を あ し を 登る階也。 し を 階 す る 端也。

板

板 いハ至^き也。たハ至^らら^らヨ^ら治^る也。留^る也。板ハ形^をも
て名^とせり。

瓦 かわら

瓦 かハ火^気也。も^らハ張^あの^約火^気強^弱ハ^るの^云
義^{あり}。

長押 ちやうおし

長押 ちやうおしハ長^手と^云義^{あり}。長^手釘^と云^義也。
か^てを^けと^約め^る名^とせり。長^押ハ^義を^もて^出る^{あり}。

名^三 十一

攘 たらし
ハ き

攘 ハ垂^木よ^て明^しを^入き^近木^也

金器之類

電くまと
へつひ

窓

電くまハ釜也。トハ戸也。ニ物一名ナクモ通リてイリ。釜ノ止
ル子不ト云義也。へつひハ歴泊れいぱくト云義トテ。電ノ日業をさせ
る名也。又是を窓くまトイリ。一家ノ一不レ其必付ル不離戸
ト云義有ヘ。

電くまへ
あつひ

電くまへハうねあへト。重形ノ歴ト云義有ルを。ねあをな

土器之類

壺つが

水壺

酒壺

藥壺

壺

ハ泊る不下子泥むと云義也。つハ泊る也。不ハ下子泥む

あり

水壺

酒壺

藥壺

亦有

花瓶

水瓶

酒瓶

瓶りめ

瓶

りめハうむと云義也。むをりめと約めてりめと

号く。うむハ礮也。えハ得也。漿粉を礮器也。めと約めて起前

の義とせり。

花瓶

水瓶

酒瓶

亦有

甌こ

ハミきあと云義あるを。きあをうと約めて名とせり。こ
き神注也。神注け器はうと云義あり。

甗さん

さららはらの約。さらは酒なり。けハ器なり。土を酒
器は器と云義也。

甗さん

甗さん もふひふもあひと云義あるを。あをたと約めて。ふ
らうよ治るの義とせり。もあこは合也。望合よし形也
系は注合らうと云義也。もあまらあの約あり。望月のふよいり。

甗さん

甗さん もふひふのたを略してふひと号く。その形の小なる也。まら
ひと云義あるを。まらをもとつめてふひといり。いハ器也
通る也。まらとといふのふよいり。

甗さん

我也。つきい付也。着也。泊る。不を限極む也。つきて。結ひて。号け
る器也。皆同義也。

木器之類

罐つる

罐 つるハ泊也。ベハ大子退き。後也。一方を泊れ。一方ハ退
き退く。よてつるべと号く。知名沙。ハ瓦釜。数子出也。七世毎
河木のまつ也。

桶ちり

桶 ちりハマよけと云義也。を。ヨよを。と約めて。名と也。桶
依舎る。俗と云義也。

手桶
桶
自ある桶也。
水桶
酒桶
土桶
ホもま

蓋 ふふつああ約つあを^①と約めて名とせり。番の上よをこ
て。且泊るふよ^②彫るふよと云義也。^③たと約めてふよ^④治り當るの義と
せり。

碓 ^{うす}

碓 五穀を踏舂具也。^①を^②初く也。すハ中よ集る也。臼の業ハ初
働きて中よ集むる也。臼ハ石器にて。から臼ハより 初働く
具也。り^③初より。かりと^④初を^⑤り^⑥り^⑦天^⑧らと云義也。

碓 ^{うす}

碓 すりハ摺なり。すり初き働きて。中よ集るも云義也。

谷ナニ 二ナニ

酒槽

酒槽 上よ已よいり。

杵 ^{きね}

杵 餅飯の類。ま^①り^②を^③扱めて^④收め^⑤流るの具也。れ^⑥き
ぬと^⑦号く。

ハ

水走りと云義なり。

捲 さす元

捲 陸詞切韻云捲。音与拳同僕語。若似斗屈木為之。考聲切韻云。捲盃類也云。さす元也。元ハ柄なり。

攪 ひつ

攪 ハ不いつと云義なりを不いをひと約めてひつと号す。不也。上ハ形も也。いつハ何時也。上ハ形も也。何時云義也。攪ハおを。柄の聽すの具也。攪子。おめてかきまのやといひ義也。

名三

竹器之類

籠

籠 (一) ハ細也小也。竹を細小に刻て編む具也。籠と名づく。是よりと強ひく俗にこりと云。こ指と云義なり。をここの款も有。

駕 うご

駕 ハうけおと云義なりを。げおを(一)と約めて名とせり。うけハ陰也。(二)ハ外子也。人の上におの上。聽る、陰の發る具也。

籬

籬 和名沙云。切敷云。江南人謂篋底方上圓者。為籬云。下編
と云。戎字なり。あハたの籬有り。

籬

籬 未考。

籬

籬 かりハ也。夜うつゝ葛うづたふふかりしり也。かりこ

名十二 亦四

と云。かりこを。心籠を。略き。かりこといひ。

籬

籬 和名沙云。籬除。籬去。細之竹器也云。ふりひハ。衣也。ゆり。物
りす。具。たれハ。ふりひと考く。

籬

籬 和名沙云。籬。籬。籬。底。竹。篋。也。云。いひハ。飯也。ま。安也。飯。の。座也。

籬

筑籬

筑籬 麥索煮籠也。以竹編為之。和名沙サあり。

箕

箕

農具之部ノ己ニいハり。

箕オノキ

帚

掃ハこと云ハ義ナなり。○キの一言ヲ略スるノ名トあり。

つらハい

つらハいハつハるノあハこと云ハ義ナ也。つハるハつハらハる也。○ウハハつハの

名ナニニナリ

敷キるハつハいハつハるノあハこと云ハ義ナ也。○ウハハつハの

つハらハいハつハるノあハこと云ハ義ナ也。

厨膳之具

箸

箸ハ柄也食を口より渡すの柄也其本夾みの物也古ニを①物
めて箸柄と云箸ハ喰を夾ミ柄ハ其本を夾む不_レよ_レと号_ス

匙

匙ハ未合也食お見_レり_レ未合と云義也

俎

俎

まハ厨詞也。かハ菜也。ハ板也。魚菜を並て庖丁する板也。

串

串

くハ付串て不離也。ハ板也。之能串るもの也。

串 焼

串 焼

串をいと知らけてやいといり。焼畑をやいといり。

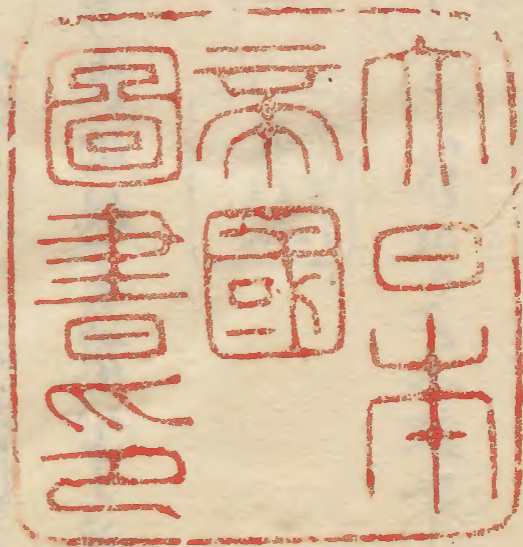
竹 籤

籤

竹のくも也。

さり

いさりといふ義なるを。りを略してさりといふ。さりハ
さりあの物。去取ハすと云義也。



各十三
二十八

